

みずほマーケット・トピック(2021 年 11 月 5 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

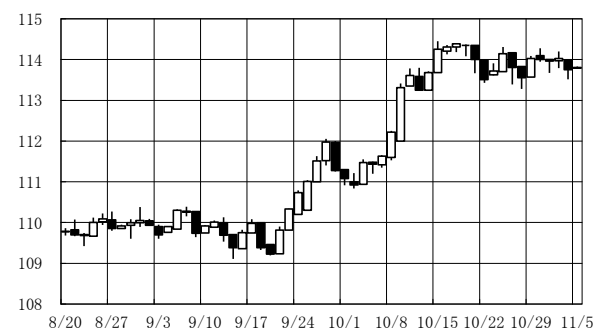
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場はやや方向感に欠ける値動き。週初1日、114.20 円付近でオープンしたドル/円は日経平均株価の急上昇を受け一時週高値の 114.44 円を付けた後に反落し、その後は今週に FOMC など重要イベントを控える中、114 円付近で様子見となった。2 日、114 円台前半で推移していたドル/円は、株式市場の軟調推移やポジション調整の動きから一時週安値の 113.46 円まで反落した。3 日、ドル/円は東京市場が休場の中、113 円台後半で小動きも、海外時間に FRB が 11 月からテーパリング開始を決定し米長期金利が上昇。ドル/円も 114 円台前半まで上昇したが、その後のパウエル FRB 議長会見ではハト派的な発言も見られたことから 114 円近辺まで押し戻された。4 日、ドル/円は FOMC 後のドル買いの流れが継続したが、英中銀の金利据え置きを受けて米長期金利の低下に波及し、ドル/円も 113 円台半ばまで急落した。本日のドル/円も同水準での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドル相場は軟調に推移した。週初1日、1.1560 付近でオープンしたユーロ/ドルは特段材料のない中で一時週安値の 1.1546 を付けた後、欧州株の堅調推移や米金利の低下を受けユーロ買いが優勢となり 1.16 台前半まで上昇した。2 日、ユーロ/ドルは前日の流れが継続したが、欧米株の軟調推移やユーロ圏 10 月製造業 PMI の冴えない結果を受けて後半にかけて 1.15 台後半まで下落した。3 日、ユーロ/ドルは米金利上昇に圧迫され 1.15 台半ばまで値を下げるも、FOMC 直後に上下動、パウエル FRB 議長によるハト派的な発言や株高に伴うリスク選好のドル売り圧力にサポートされ一時週高値の 1.1616 まで反発した。4 日、1.16 台前半で堅調に推移していたユーロ/ドルは、FOMC 後のドル買いや株安を背景としたリスク回避のドル買いに押されて一時週安値の 1.1528 まで急落。その後は英中銀の発表を受けて上昇したユーロ/ポンドに連れ高となり 1.15 台後半まで持ち直した。本日のユーロ/ドルも同水準での取引となっている。

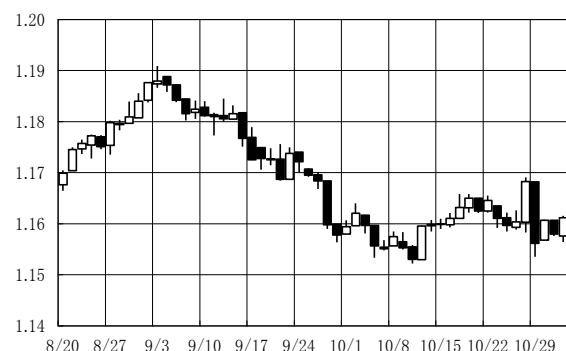
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

ドル/円相場の動向

		前週末	今 週				
		10/29(Fri)	11/1(Mon)	11/2(Tue)	11/3(Wed)	11/4(Thu)	
ドル/円	東京9:00	113.62	114.23	114.09	113.96	114.07	
	High	114.09	114.44	114.13	114.21	114.28	
	Low	113.40	113.94	113.65	113.73	113.51	
	NY 17:00	114.03	114.00	113.96	114.03	113.76	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1682	1.1557	1.1601	1.1579	1.1616	
	High	1.1690	1.1609	1.1613	1.1616	1.1616	
	Low	1.1535	1.1546	1.1575	1.1563	1.1528	
	NY 17:00	1.1562	1.1607	1.1580	1.1612	1.1555	
ユーロ/円	東京9:00	132.74	131.98	132.30	131.95	132.49	
	High	132.89	132.41	132.37	132.41	132.56	
	Low	131.61	131.80	131.49	131.77	131.02	
	NY 17:00	131.80	132.30	131.97	132.42	131.47	
日経平均株価		28,892.69	29,647.08	29,520.90	-	29,794.37	
TOPIX		2,001.18	2,044.72	2,031.67	-	2,055.56	
NYダウ工業株30種平均		35,819.56	35,913.84	36,052.63	36,157.58	36,124.23	
NASDAQ		15,498.39	15,595.92	15,649.60	15,811.58	15,940.31	
日本10年債		0.09%	0.09%	0.08%	-	0.07%	
米国10年債		1.56%	1.56%	1.55%	1.60%	1.53%	
原油価格(WTI)		83.57	84.05	83.91	80.86	78.81	
金(NY)		1,783.90	1,795.80	1,789.40	1,763.90	1,793.50	



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、今晚5日(金)に10月雇用統計が発表される。前回9月の非農業部門雇用者数は+19.4万人(前月比、以下同様)と市場予想(+50.0万人)を下回る結果となった。民間部門雇用者数は+31.7万人、政府部門雇用者数は▲12.3万人の結果となった。民間部門雇用者数に関する内訳は、民間サービス部門が+26.5万人と8月の+29.5万人と比較して伸びが鈍化した。娯楽・宿泊業や医療・社会扶助サービスの雇用が改善したが、専門・ビジネスサービスの伸び悩みが影響した格好となった。財部門は+5.2万人と8月から改善した。製造業、建設業とも堅調な推移が継続した。政府部門については州・地方政府部門の教育関連の雇用が▲16.1万人と大きく足を引っ張ったが、米国労働省はコロナ禍において季節調整による歪みが生じた可能性を指摘している。一方、失業率は4.8%と0.4%ポイントの改善。失業保険の追加給付が9月に期限切れとなったことなどが影響したと見られるが労働参加率(労働力人口÷生産年齢人口)は、61.6%と市場予想(61.8%)を下回る結果となっており、労働供給のペースは軟調であることが示唆された。なお、ブルームバーグの事前予想では、10月の非農業部門雇用者数を+45.0万人としており、失業率は4.7%、労働参加率を61.7%と見込んでいる。

FRBは今週のFOMCにて量的緩和縮小(テーパリング)を決定した。パウエルFRB議長はテーパリングのペースについて、経済が予想通り大きく進展するのであれば、毎月同じペースの減額が適切とし、22年6月での終了を示唆した。足許の雇用情勢については求人需要が依然強い点を指摘しつつ、労働市場の供給制約は経済の進展に伴う雇用増と感染抑制で消えるとの認識を示した。また、最大雇用は22年後半には実現するかという質問についても今年のような雇用情勢の改善が続けば、達成できると言えるだろうと回答している。一方で、利上げを議論する上では現状、雇用者数と労働参加率の両面において最大雇用に達しているとは言えないとも述べている。

	本 邦	海 外
11月5日(金)	・9月家計支出	・ユーロ圏9月小売売上高 ・米10月雇用統計
8日(月)	・日銀金融政策決定会合 主な意見(10月会合分) ・9月景気動向指数(速報)	・ユーロ圏11月センチックス投資家信頼感指数
9日(火)	・9月経常収支 ・10月景気ウォッチャー調査	・ユーロ圏11月ZEW景気期待指数 ・独9月経常収支 ・米10月PPI
10日(水)	・10月工作機械受注(速報)	・米10月CPI
11日(木)	・10月国内企業物価指数	・ユーロ圏ECB経済報告 ・英7~9月期GDP(速報) ・米10月財政収支 ・米9月卸売在庫(確報)
12日(金)	—————	・ユーロ圏9月鉱工業生産 ・米11月シガン大学消費者マインド(速報)

【当面の主要行事日程(2021年11月~)】

日銀金融政策決定会合(12月16~17日、1月17~18日、3月17~18日)
ECB政策理事会(12月16日、2月3日、3月10日)
FOMC(12月14~15日、1月25~26日、3月15~16日)

市場営業部・金融市場部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2021年10月29日	週末版(ECB政策理事会を終えて～冷静なインフレ分析と盛り沢山の12月会合～)
2021年10月28日	2%を突破したユーロ圏のインフレ期待と利上げの今後
2021年10月26日	供給制約下の利上げは正当化されるのか？
2021年10月25日	ECB政策理事会プレビュー～12月に向けた露払い～
2021年10月22日	週末版(ドイツメンバー、4度目の退場～バイトマン連銀総裁の辞任報道を受けて～)
2021年10月20日	本邦9月貿易収支を受けて～需給も円売り材料に～
2021年10月19日	ドイツ連立政権発足へ前進～クリスマス前にも？～
2021年10月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年9月分)
	欧州委員会、初のグリーンボンド発行を受けて
2021年10月15日	週末版(IMF秋季世界経済見通し(WEO))を受けて～世界とは別次元の日本の悩み～)
2021年10月13日	円安に蝕まれる日本経済の現状
2021年10月12日	現実味を帯びるECB正常化、日銀にも好機
2021年10月11日	米9月雇用統計を受けて～既定路線の修正には至らず～
2021年10月8日	週末版(ECB政策理事会議事要旨(9月9日開催分))～争点は「PEPPの次」へ～)
2021年10月7日	インフレ高進を考える～「目先の生活」vs「地球の気温」～
2021年10月5日	交易条件の悪化に蝕まれる日本経済
2021年10月4日	岸田政権に求められる「新規感染者主義からの脱却」
2021年10月1日	週末版
2021年9月30日	ドル/円の年初来高値更新と岸田新政権への期待
2021年9月28日	次期ドイツ政権が直面する課題②～域内再分配～
2021年9月27日	次期ドイツ政権が直面する課題①～対中関係～
2021年9月24日	週末版(FOMCを終えて～既定路線と化した「22～23年の利上げ」～)
2021年9月22日	恒大問題の現状整理～2つのポイントで理解する今後～
2021年9月21日	ドイツ総選挙直前プレビュー～政治空白は必至か～
2021年9月17日	週末版(実質実効為替相場(REER))の国際比較～過去1年で割安感が加速したのは円くらい～)
2021年9月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年8月分)
	日本株上昇をどう解釈すべきか～2つの理由の妥当性～
2021年9月14日	70年代前半まで落ち込む円の価値、その意味
2021年9月13日	接種率の米国超えも、漂流する「戦略なき経済」
2021年9月10日	週末版(ECB政策理事会を終えて～12月がPEPP終了判断の分かれ目に～)
2021年9月8日	米消費者心理と米国の所得・消費環境について
2021年9月7日	世界経済は「踊り場」も円相場シナリオは揺るがず
2021年9月6日	米8月雇用統計を受けて～当面の3つのシナリオ～
2021年9月3日	週末版(ユーロ圏の物価情勢と孤立する日本～日米欧の物価情勢格差も鮮明に～)
2021年9月1日	ECB政策理事会プレビュー～にわかに出口ムード～
2021年8月30日	ジャクソンホール経済シンポジウム～市場は安堵の様相～
2021年8月27日	週末版(ECB議事要旨を受けて～新ガイダンスを巡って議論紛糾～)
2021年8月26日	混沌極めるドイツ総選挙～現実味帯びる「CDU/CSU」下野～
2021年8月24日	銅金レシオ急落はリスクオフ開始の合図か？
2021年8月23日	ECB政策理事会プレビュー～「静観が吉」しかない情勢～
2021年8月20日	週末版(FOMC議事要旨を受けて～正常化プロセスは視界良好～)
2021年8月19日	迫るメルケル退場～欧州の未来を問う選挙～
2021年8月17日	本邦4～6月期GDPを受けて～完全復元は23年以降に～
2021年8月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年7月分)
	メインシナリオの障害～米消費者マインドの動揺～
2021年8月13日	週末版(「異形の経済」が修正されるドイツ～アフター・メルケル時代へ)
2021年8月11日	世界に範を示す英国の金融政策運営
2021年8月10日	米7月雇用統計～実現に近づくウォラー想定～
2021年8月6日	週末版
2021年8月3日	「雇用の最大化」に近づく米国経済
2021年8月2日	アフターコロナを捉えた米欧の4～6月期GDP
2021年7月30日	週末版
2021年7月29日	FOMCを終えて～「著しい進展」が視野に～
2021年7月28日	1人負けが鮮明となっている日本の経済・金融情勢
2021年7月27日	「米国買い」をテーマとする金融市場の現状
2021年7月26日	ECB政策理事会を終えて～歴史的な修正～
2021年7月21日	週末版
2021年7月20日	変化の兆候を感じる円相場～需給・物価要因に変調～
2021年7月19日	気候変動オペを受けて～バランスに配慮した素案～
2021年7月16日	週末版(「ドル安見通し」の内情を探る～「需給」でドル安の現実味～)
2021年7月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年6月分)
2021年7月14日	米インフレ率の騰勢とノイズ化するドットチャート
2021年7月13日	気候変動対策に動き出したECB～戦略修正を受けて～
2021年7月12日	猜疑心強まる民間部門～緊急事態宣言と貯蓄～
2021年7月9日	週末版(ECB、18年ぶりの戦略修正の中身～ハト派修正であることは確か～)
2021年7月8日	米金利低下でも買われない円。理由はどこに
2021年7月6日	想定される3つのシナリオ～BIS年次報告②～
2021年7月5日	Pandexitと格差拡大～BIS年次報告～
2021年7月2日	週末版(2021年上半年の為替相場レビュー～下半期はワクチンから金融政策へ～)
2021年7月1日	世界の外貨準備動向～21年3月末時点～
2021年6月28日	22年Q1に完全回復を見込むECB。「次の一手」は？
2021年6月25日	週末版(ワクチン相場の賞味期限とリスク～「ワクチン接種先進国のつまづき」に怯える局面～)
2021年6月23日	やはり無理が出始めた北アイルランド国境管理
2021年6月22日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その②～
2021年6月21日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その①～
2021年6月18日	週末版
2021年6月17日	FOMCを終えて～前倒しで進む正常化シナリオ～
2021年6月16日	新たな安全資産の誕生～ハミルトン・モーメントか否か～
2021年6月15日	イングランド行動制限延長も構図は変わらず
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年5月分)
2021年6月14日	ビットコイン法定通貨化に関する考察
2021年6月11日	週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPのその先を考える～)
2021年6月9日	ワクチン追い風に盛り返すドイツ与党～最後の前哨戦～
2021年6月8日	試され始めた「双循環」～元高容認に変調～
2021年6月4日	週末版(米5月雇用統計を前に～どうあれドル/円相場の行く先は変わらず～)
2021年6月3日	「蚊帳の外」感の強まる円相場～細る取引高～
2021年6月2日	着実に進むユーロ圏の日本化とユーロの堅調
2021年6月1日	米インフレ基調の現状と正常化プロセスへの考察
2021年5月28日	週末版(BOE早期利上げ観測の傍らで浮上する英国リスク～試されるワクチンの力～)